

畑クラブ 2016年 年明け初の援農！

根が深い雑草はとるのが厄介。

3/5(土) 援農要請に、待ってました！の声しきり。でもこの日は4～5人限定。晃郎（あきお）さんのハウスの春のトマト定植にむけての準備です。3月初めの高温で野菜は一挙に大きくなり、青菜は硬くなったり、大根は臺とうが立って大根の外周辺が網状になったり…。出荷には向かないということで、ハウスに残っていた青菜を抜き、雑草をとりました。菜っ葉もったいなあい～。季節ハズレの高温は野菜の敵！



高温で育って、開いちゃったチンゲン菜。食べるには堅そうかな…まだ良さそうなチンゲン菜はみんなであけて、もらって帰りました。



根が深い雑草はとるのが厄介。ハウスの中は暑いねえ。晃郎さん、いつもたいへんやねえ。



小学生も大活躍！



3/12(土) 2軒の生産者に分かれて作業しました。良三さんの畑の白菜の後片付けと、^{かなめ}要さんのハウスの菜っ葉の後片付け。

畑に残った白菜。子どもたち大活躍でした。



動くとき寒くないよ



お疲れ様でした！お一人写ってなくてごめんなさい。(出荷場前で)

要さんのハウスでは、3月初旬の高温で育ち過ぎて「大松菜」になった小松菜や、水菜を抜き取る作業をしました。まだ食べられる物ですが、食べごろがすぎたということですね。…「畑のたより」に出荷するために、不足しないように少し多めに作ったり、季節外れの高温でいっきに大きくなってしまいう葉物と、出荷のタイミングが合わない、ということがあったりして、みんなの口に入らずに土に戻ってしまう野菜があるんですね。ず～っと昔、畑にできた野菜は全量ひきとり、という時期があったと聞きます。それだと組合員が食べきれず、困ったというし…。何か利用方法がないのかなあと、みんな「もったいないなあ～」とつぶやきながら作業をしました。(写真がなくて残念(>_<))

このあとハウスでは、小さなトマトの苗を植えるそうです。トマトは雨にあたらぬ方がいいので、ハウスで作ると前に聞きました。「畑の便り」のハウスでは加温しているところはありませんので念のため。トマトは秋に種まきして苗を作り、春に定植して7月に収穫。ですからとっても時間がかかる野菜です。値段が高くて、当たり前、ですね。